

篠路駅東口駅前広場の在り方検討会議が始動！



札幌市では本年度、篠路駅前のにぎわい創出に向けて、篠路駅東口駅前広場の整備内容を地域のみなさまと一緒に検討していくため、「篠路駅東口駅前広場の在り方検討会議」を開催することといたしました。

この検討会議では、町内会や各団体等の地域の関係者のほか、大学教授などの有識者も交え、今後の東口駅前広場の具体的な整備内容について話し合っていく予定で、平成30年6月6日(水)に第1回を開催いたしました。



駅前広場の考え方や地域の資源について説明

駅前広場の検討について

はじめに、事務局である札幌市より、篠路駅周辺地区のこれまでのまちづくりの経緯や、検討会議の目的などについて説明しました。

その後、東口駅前広場の整備の考え方、整備イメージ、軟石倉庫を存続する場合に必要な検討事項などについて説明を行いました。

地域資源の保存活用について

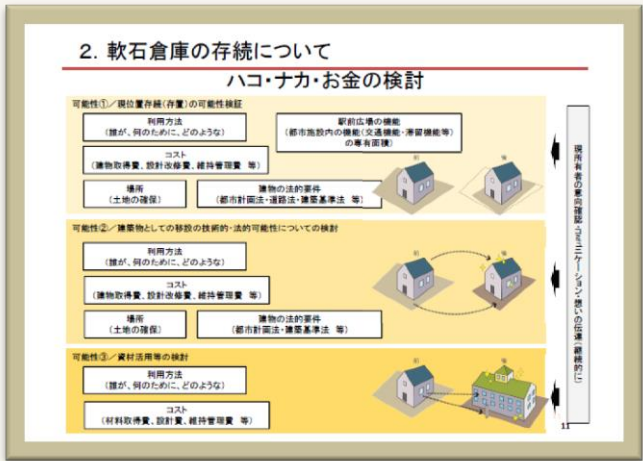
「わきあいあい篠路まちづくりの会^{*}」から、駅前広場と歴史的建造物を拠点とした心安らぐ篠路の未来づくりに向けて、会の結成経緯から、これまでの取り組み、話し合いの経緯、軟石倉庫の保存活用に向けた検討状況を説明いただきました。

駅前広場の整備イメージ

1. 駅前広場の考え方 駅前広場のロータリー形状 想定イメージ(1)



1. 駅前広場の考え方 駅前広場のロータリー形状 想定イメージ(2)



篠路駅東口駅前広場の在り方検討会議の詳しい内容については札幌市HP (<http://www.city.sapporo.jp/toshi/kukaku/shinoro/shinoro.html>) で公開しております。是非ご覧ください！！

※ 昨年度の市主催の「みんなの想い取りまとめ会議」開催後、引き続き篠路のまちづくりについて考えていく場として参加者有志により結成

話し合いのポイント

★ 駅前広場のロータリーの形をどのようにすべきか ★

★ 駅前の軟石倉庫が地域資源として重要な場合、どのように残していくか ★

話し合いの様子

駅前広場のロータリーについて

ロータリーの形状を考える際に、バスが乗り入れるためのまちづくりの検討、交通結節点として必要な整備、新たな公共交通やバリアフリー整備などについて意見が出されました。



ロータリーの形状を考えるには、今後のバスの乗り入れる見込みが重要。



交通結節点として、駐車場や駐輪場についても検討が必要。

バスが乗り入れる仕組みや篠路らしいまちづくりを検討し、バス事業者へ提案すべき。

高齢化により公共交通が重要となる。コミュニティバス、自動バス等の可能性、バリアフリー化なども検討が必要。



無人バスなど将来の技術革新も考慮して検討を進める必要がある。

地域資源としての軟石倉庫について

軟石倉庫について、残すべき意義、活用方法、駅前広場の在り方との関係などについて意見が出されました。

倉庫を残す価値があるか、歴史的建造物といえるのかなどについて議論が必要。

倉庫所有者の意向を踏まえる必要がある。



残していくための具体的な事業プランが提案されると議論が深まる。

歴史的建造物を残すだけでなく、活用することが重要。

若い世代が倉庫についてどのように考えるかが大切。

コストや法律を考えると、存続も移設も難しいのではないかと。



軟石倉庫は歴史的建造物であり、価値のあるもの。

その他

駅前広場について、より視野を広げた検討が必要であるという意見が出されました。

駅前広場と倉庫についての検討だけではなく、人的、物流、文化的交流により人が集まるといった総合的な検討や長期的な視点で、地域のニーズを反映させることが必要。

女性や子どもの利用も考えた検討が必要。

まちのビジョンを持って考えることが重要。



お知らせ

次回の「篠路駅東口駅前広場の在り方検討会議」は7月30日(月)の予定です。

第2回の検討会議は、篠路出張所において7月30日(月)18時からの開催を予定しています。公開で行いますのでどなたでも傍聴可能です。また結果については、引き続き、シノロナビでお伝えする予定です。



お問い合わせ先

SAPPORO



さっぽろ市
02-B03-18-1063
30-2-728

札幌市まちづくり政策局都市計画部事業推進課 担当：森川・若林
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎4階
TEL 011-211-2706 FAX 011-218-5113
MAIL jigyousuishin-kei@city.sapporo.jp



メールアドレスはQRコードから読み取れます↑